

都市計画税の課税状況等の調（市町村個票 調査1-2）

市町村コード  市町村名

注意：都道府県集計用として、下方印刷範囲外のセルにリンクを張っているため、表行列を変更しないこと。  
文字がセルに収まらず、印刷時に表示されなくても、セルの結合等はしないこと。

1. 都市計画事業にかかる予算・決算の状況

区分	年度	令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
		特別会計等 設置の有無	（千円）	特別会計等 設置の有無	（千円）
① 都市計画事業費等	街路				
	公園		77,305		82,023
	下水道	○		○	
	その他				
	市街地開発事業				
	都市計画事業計	A	77,305		82,023
	土地区画整理事業	B			
	地方債償還額	C	2,301		2,301
合計（A+B+C）	D		79,606		84,324
② Dの財源内訳	地方債	E			
	支出金	F			
	負担金その他	G			5,451
	都市計画税収入額	H	42,531		41,914
	一般財源等 D - (E + F + G + H)	I	37,075		36,959
	合計	J	79,606		84,324
充当割合 i (現年分のみ)	$\frac{H}{H+I} \times 100 (\%)$	K	53.4%		53.1%
充当割合 ii (超過分含む)	$\frac{H+Z}{H+I} \times 100 (\%)$	L	53.4%		

- (注1)「充当割合K」及び「充当割合L」欄の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して求めること。  
 (注2)「充当割合L」欄の計算におけるZの数値は、「2. 令和元年度以前の超過額の処理状況」のZの数値を用いること。  
 (注3)「特別会計等設置の有無」欄は、特別会計等(特別会計又は企業会計)を設置している場合は○、設置していない場合は空欄。  
 (注4)東京都については、「都市計画交付金」として支出されたものについて、事業内容に応じ、各欄に計上すること。

2. 令和元年度以前の超過額の処理状況（複数回答可）

区分	金額(単位:千円)
① 当該年度に生じた超過額は、特別会計内における繰越により翌年度以降の都市計画事業又は土地区画整理事業に充当している。 特会名称 <input type="text"/>	
②-1 当該年度に生じた超過額は、翌年度以降の当該事業に充当するため、都市計画事業又は土地区画整理事業に用途を限定した基金に積み立てしている。 → 充当がある場合 当該基金の名称 <input type="text"/>	
②-2 当該年度に生じた超過額は、翌年度以降の都市計画事業又は土地区画整理事業に充当するため、用途が限定されていない基金に積み立てしている。 → 充当がある場合 当該基金の名称 <input type="text"/>	
③ その他 → 内容について具体的に <input type="text"/>	
合計額(Z)	0

3. 令和2年度の超過額の処理状況

① 2. と同様の方法により処理  
 ② 2. と異なる方法により処理  
 ③ その他  
 →②又は③の場合 具体的に

4. 令和2年度決算時点における超過額の残額

(単位:千円)

令和2年度 入湯税の用途状況等に関する調査（市町村調査表）  
 1 入湯税充当状況に関する調（令和2年度分）

市町村名	美瑛町	全国地方公共団体コード	014591
主な温泉名	白金温泉		

（単位：千円）

区分	事業名	事業費	当該事業の財源内訳					一般財源等		備考
			支出金		地方債	負担金 その他	入湯税	その他		
			国	都道府県						
環境衛生施設の整備	うち入湯税充当事業									
	計	A								
	小計（入湯税を充当していない分を含む）	G								
鉱泉源の保護管理施設	泉源線出金（18号井浚渫整備事業）	9,953					9,953			
	うち入湯税充当事業									
	計	B	9,953				9,953			
小計（入湯税を充当していない分を含む）	H	9,953								
消防施設等の整備	うち入湯税充当事業									
	計	C								
	小計（入湯税を充当していない分を含む）	I								
観光施設の整備	うち入湯税充当事業									
	計	D								
	小計（入湯税を充当していない分を含む）	J								
観光振興 （観光施設の整備除く）	美瑛町観光協会補助金	22,638					952	21,686		
	うち入湯税充当事業									
	計	E	22,638				952	21,686		
小計（入湯税を充当していない分を含む）	K	22,638								
	基金へ繰入れ	F								
合計	入湯税充当事業等 （A+B+C+D+E+F）	32,591					※ 10,905	21,686		
	入湯税充当可能事業 （G+H+I+J+K）	32,591								